

米国バイオ&テクノロジー株オープンの運用状況

米国バイオ&テクノロジー株オープン
追加型投信／海外／株式

2018年11月8日

米国バイオ&テクノロジー株オープンでは、米国のバイオテクノロジー、情報技術（IT）、先端技術製品、サービステクノロジー等の各分野の株式を買い付け、ポートフォリオを構築しています。

本レポートにおいては、世界的に進んでいる高齢化率の上昇と、高齢化の下で存在感を高めつつあるバイオ関連銘柄の注目テーマについてお伝えします。

【世界的に高齢化率が益々高まる見通し】

国際連合の推計によると、世界各国において高齢化率（総人口に占める65歳以上人口の割合）の上昇が続くと見込まれています。現在の各国全体の高齢化率を見ると、総じて先進国の方が高く、新興国の方が低い傾向があります。今後の推計を見ると、先進国、新興国ともに高齢化率の上昇が予想される中、衛生面や医療面で改善余地が大きい新興国でその傾向が顕著に表れています。

高齢化率が、7%を超えてからその倍の14%に達するまでの所要年数を見ると、他の地域に先駆けて7%に到達したスウェーデンが85年、米国72年、英国46年、ドイツ40年に対し、高齢化率7%への到達が遅れたアジアでは、日本24年、中国24年、韓国18年と所要年数が短くなっており、医療の進歩等が、長寿化に寄与していると考えられます。

今後は、高齢化の進展に伴い、高齢者を支える適切な医療に対するニーズが増すとともに、ヘルスケア業界の企業は、そのニーズに応える存在として長期的に注目され続けると考えられます。

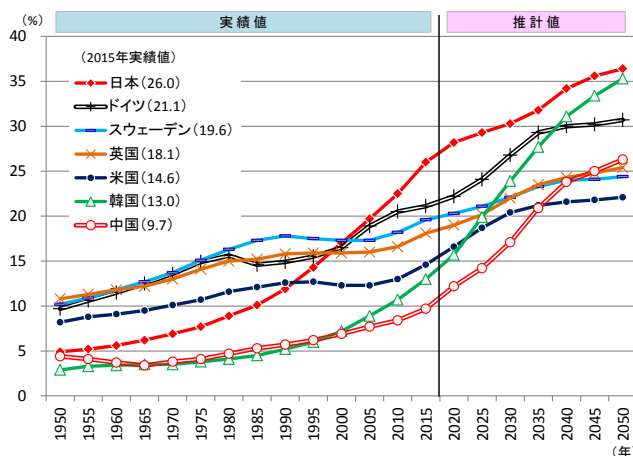
【QOL向上への貢献が見込まれる分野に注目】

最近では、QOL（クオリティ・オブ・ライフ）に対する意識が高まっていると見受けられます。医療・福祉業界では、延命治療のみに偏らず、患者の生活向上、精神的な豊かさや満足度などを重視しながら、治療を行う考え方が広まりつつあるようです。

従来の化学療法や投薬では、治療効果が高い一方、副作用も大きいという問題がありました。バイオ関連企業は、遺伝子治療や細胞療法、免疫腫瘍学などを駆使しながら患者のQOLを向上させるような新たな治療法を生み出すと期待されています。

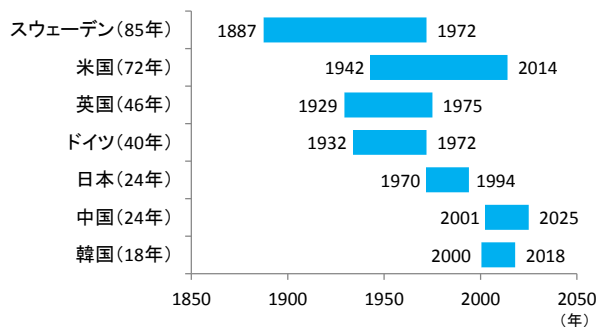
当ファンドでは、引き続き好業績が予想されるバイオ関連企業のウェイトを高めとする運用を行っています。

世界の高齢化率の推移（1950年～2050年）



（出所）国際連合、World Population Prospects: The 2017 Revision より岡三アセットマネジメント作成
※2020年以降については、推計値を掲載

主要国において高齢化率が7%から14%に上昇するのに要した期間



（出所）国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」（2018年）より岡三アセットマネジメント作成
※中国と韓国については、推計値を掲載

バイオ関連銘柄の注目テーマ

テーマ	内容
遺伝子治療	疾患の原因となる欠陥遺伝子を修復・修正することで病気を治療する手法。投薬や外科治療の代替手法として期待されている
細胞療法	患者から血液を採取し、白血球やリンパ球の攻撃力を強めてからその免疫細胞を患者に戻すことによって癌治療を行うもの
免疫腫瘍学	抗体製剤を使って、患者の免疫システムを強化することにより、癌と戦うもの。化学療法の代替となる

（出所）各種資料より岡三アセットマネジメント作成

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「米国バイオ&テクノロジー株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

米国バイオ＆テクノロジー株オープン
追加型投信／海外／株式

【当面の株式市場見通しと運用方針】

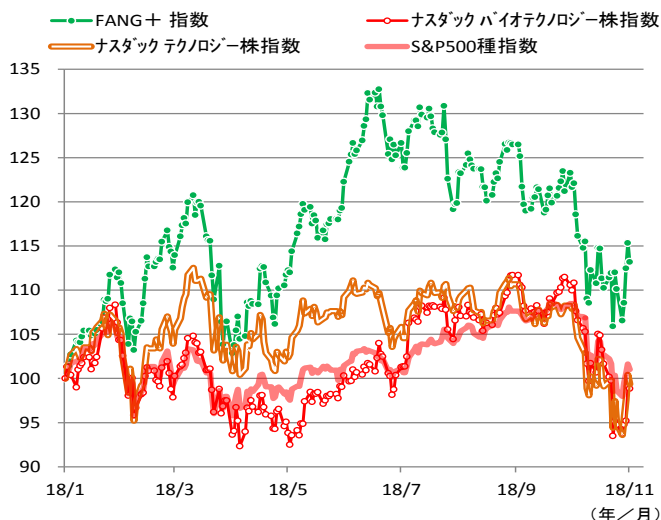
当面の米国株式市場は、中間選挙の終了により不透明要因の出尽くしを受けて、戻りを試す展開に移行すると予想されます。好景気の継続や年末商戦への期待に加え、通商問題が緩和に向かうとの期待が支援材料になると考えられます。

当ファンドの運用につきましては、アクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッドからの投資助言を参考に、投資環境や業績動向などを勘案して銘柄選別を行い、組入れを行います。

テクノロジー関連に関しては、業績上方修正の動きが後退しつつある銘柄のウェイトを引き下げます。ヘルスケア関連については、医療機関の業務管理システムなどを手掛ける銘柄に加え、遺伝子治療や細胞療法の分野で強みを持つ銘柄のウェイトを引き上げます。

米国の主要株価指数の推移

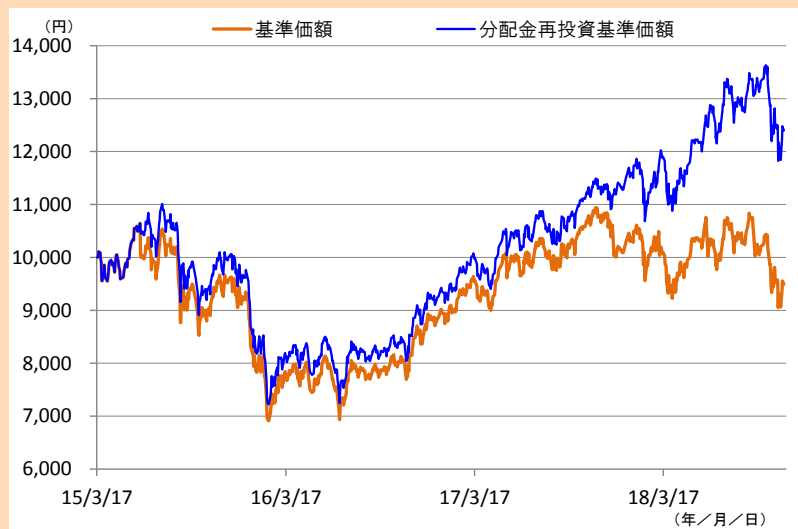
(2018年1月2日～11月2日、2018年1月2日を100として指数化)



(出所) Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成
※FANG+指数: 米国の大手IT企業であるFacebook、Amazon.com、Netflix、Googleの頭文字をつないだ「FANG」に、人気のハイテク、ネット関連企業を加えた合計10銘柄から構成される指数

運用状況（作成基準日 2018年11月5日）

設定来の基準価額推移
(2015年3月17日～2018年11月5日)



ファンドデータ(11月5日現在)

基準価額(円)	9,491
残存元本(百万口)	10,965
純資産総額(百万円)	10,407
株式組入比率(%)	91.2
短期金融商品その他(%)	8.8
組入銘柄数	52

※比率は、マザーファンドを通じた実質組入比率です。

セクター別組入比率(11月5日現在)

医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	27.5%
ソフトウェア・サービス	23.5%
テクノロジー・ハードウェアおよび機器	11.1%
メディア・娯楽	9.6%
半導体・半導体製造装置	7.3%
ヘルスケア機器・サービス	7.2%
小売	4.9%

※比率は、当ファンドの純資産総額に対する実質組入比率です。

※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。 ※小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。
※分配金再投資基準価額は、設定日を起点として算出してあります。
※分配金実績(1万口当たり、税引前)：2015年6月9日に450円、2017年6月9日に50円、2017年12月11日に650円、2018年3月9日に550円、2018年6月11日に550円、2018年9月10日に500円(設定来累計 2,750円)

以上
(作成：運用本部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「米国バイオ＆テクノロジー株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



米国バイオ & テクノロジー株オープン
追加型投信／海外／株式

米国バイオ & テクノロジー株オープンに関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、米国の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。その他の変動要因としては「カントリーリスク」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがあった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.782%（税抜1.65%）
- その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.01296%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれております。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
高木証券株式会社	近畿財務局長(金商)第20号	○			
東武証券株式会社	関東財務局長(金商)第120号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○		○	
マネックス証券株式会社	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
愛媛証券株式会社	四国財務局長(金商)第2号	○			

＜本資料に関するお問合わせ先＞

フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)